

令和4年第1回北海道議会 予算特別委員会(総合政策部所管) 開催状況

開催年月日 令和4年3月17日(木)

質問者 日本共産党 宮川 潤 委員

担当部課 総合政策部国際局国際課

質問要旨	答弁要旨
<p>一 国際交流事業等について</p> <p>(一)ウクライナの方々への人道支援について ロシアの侵略によって多くの民間人が犠牲になり、妊婦や新生児へも攻撃が行われております。病院やインフラ施設等が破壊されて食料品や医薬品などあらゆる物資が底をついています。ウクライナの方々の惨状を見て見ぬふりはできません。人道支援を行うべきではないですか、伺います。</p> <p>(二)来年度予算におけるロシア関連事業について 予算案中、ロシア関連事業がありますが、その多くが友好・交流にかかわるものと捉えておりますが、ロシア関連事業費中、経済協力等、経済に関する予算額及びその内容について明らかにしてください。</p> <p>(三)ロシアに対する姿勢等について 松野官房長官は、3月11日の衆議院内閣委員会で、安倍政権時代にロシアと合意した8項目の経済協力プランについては見直す方針を表明しました。また、同日の記者会見で、「現下のウクライナ情勢を踏まえば、ロシアとの関係で新たな経済分野の協力を進めていく状況にはない」と発言しています。まず、この点についての道の認識を伺います。 さらに、ロシアが武力による一方的な侵略を行っている以上、経済協力はできないことをはっきり打ち出すべきであります。ロシアは我が国の領土を不法占拠し、さらに、千島への進出企業に対し、免税することで実効支配を強めようとしております。あらためてこの場で、ロシアに対する断固たる姿勢を示し、経済協力事業等を行わない。このことを明言してください。</p> <p>(指摘) 本来は、ウクライナともロシアとも友好関係にあるべきですけれども、そういう状況を目指すためにも、今のロシアによるウクライナ侵略は断じて許すことはできません。一刻も早い停戦とロシアの撤退を求めるものであります。一方、日本国内のロシア料理店等に対する嫌がらせが起きていることも伺っております。在日ロシア人を含む一般のロシア国民に対する誹謗中傷、ヘイトクライムも人権蹂躪であり、許されない行為であります。平和と友好、人権擁護のために、道として尽力されることを指摘しておきたいと思っております。</p>	<p>(国際課長) ウクライナの方々への支援についてでございますが、道といたしましては、本道にご親族や知人がお住まいのウクライナの方々を受け入れ、衣食住といった生活などに関する支援に取り組む必要があると考えております。このため、道のホームページ内に専用サイトを開設し、ワンストップサポート窓口のご案内をはじめ、団体の募金活動を紹介するほか、企業や団体の方々などから、住居や生活物資、通訳などの支援に関する情報を受け付け、道内にお住まいのウクライナの方々の要望とのマッチングを進めるなど、本道へ避難される方々の受け入れ環境づくりや支援に努めてまいります。</p> <p>(ロシア担当課長) 来年度予算におけるロシア関連事業についてでございますが、ロシア関連予算のうち、経済に関する予算としては、ロシア極東地域、欧露部との幅広い関係強化のための経済交流イベントなどの経費を含む事業に5,788万1千円、北海道サハリン事務所の運営と友好・経済協力のための諸会議の開催経費を含む事業に2,212万4千円計上しております。</p> <p>(ロシア担当局長) ロシアとの経済交流についてでございますが、国においては、8項目の経済協力プランについて、現下の情勢では新たな協力を進める状況にないとしておりまして、関係する政府の事業を当面見合わせていくこととしております。 道といたしましては、ウクライナに関連した情勢が現在も進行中でありますことから、その推移や影響などを十分注視していく必要があると認識しておりまして、ロシアとの経済に関する交流事業については、現在の状況下では、当初想定していた事業効果を得ることが見込めないことから、延期などを検討することとしまして、ロシア側行政府との協定等に基づく会議などについても、相手側との協議を踏まえながら対応を検討してまいります。</p>